

「設備工事の全体に携わりたい」と、サブコンからゼネコンに転職

高橋 孝一 設備施工

株式会社浅沼組 設備職 3年目 / 電気科卒業
現在の担当案件：マンション、資源物処理施設



“建築設備”を選んだワケ

高校では電気科で学び、それを生かせる仕事ということでサブコン(専門工事会社)に入社して電気現場担当職になりました。そこで9年働いて、もっと現場全体にかかわる仕事をしたいと思い、ゼネコンの設備職を希望して転職しました。サブコンでは専門工事会社の技能者さんとのやりとりが中心でしたが、ゼネコンでは電気工事全般を取り仕切るの、関係する協力会社も多いし、その分調整することたくさんあって大変ですが、充実しています。

ゼネコンとサブコンの違いとは!?

ゼネコンとサブコン、両方の仕事を経験して思うのは、サブコンは図面の作成や材料発注、現場で墨出しなど何でも自分で動くイメージですけど、ゼネコンはむしろ人を動かすのが仕事。綿密に打ち合わせをした上で、協力会社にいかに効率的に動いてもらうかを考えるのがゼネコンだと思います。

仕事の難しさ、やりがいとは

複数の現場を同時に担当するんですけど、進捗がぜんぜん違うので、この現場は竣工間際でピリピリしてるのにこっちの現場はそこまで切羽詰まってない、みたいなこともよくあります。追い込まれてる現場からそうでもない現場に行くと、テンションの違いに戸惑ったりとか。そういう切替えも必要でしょうね。個人的に好きな作業は、総合図をチェックして、それが仕上げの際にどうなるか想像しているときと、実際に現場に出て図面どおりにできているかの確認です。できあがりの状況を最後に答え合わせするような感じで、事前のイメージと同じように収まった時は安心感とやりがいを感じます。

学生にむけて(メッセージ)

電気とか水道もそうですけど、設備は生活に密接した分野なので、まずはそういう重要な仕事だってことを知ってもらいたいです。この仕事を通じていろんなノウハウや技術が身につくので、それは間違いなく自分の武器になるし、将来に向けて絶対にムダにならないと思います。



総合図をチェックしながら、仕上がりを妄想中。この時間が楽しい

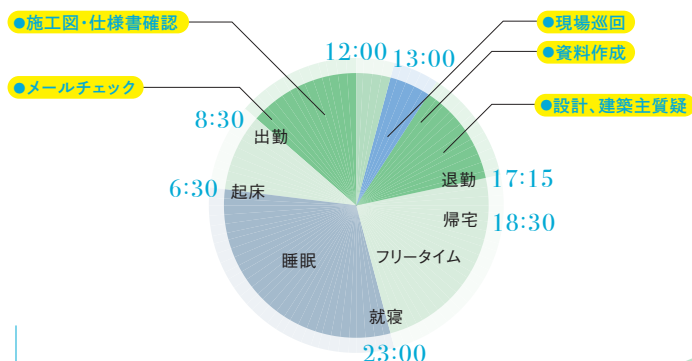
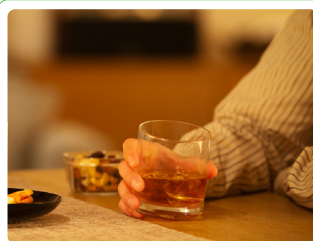


最新技術を取り入れることも多いので、社内の技術説明会やカタログ、先輩との会話から情報収集をする

音楽を聴きながら、読書をしたり、大好きな梅酒を楽しむ時間が癒しです



My Favorite



One day with me

※所属や経歴は取材当時(2025.2)のものです